

“講演会「命の大切さについて」の感想⑤”柏市補導センター上條先生

『僕は柏市補導センター上條先生の話聞いて、薬物が柏駅の周りで売られていたということにとっても驚きました。薬物はテレビで見て怖いと感じているだけでしたが、話を聞いて身近なことだと感じました。友達や先輩に薬物を勧められたら、それはもう友達ではないという言葉が心に残りました。薬物を乱用するのは絶対したくないです。

SNS の使い方も知ることができて良かったです。上手く使えば便利ですが、間違ると住所などの個人情報が出てしまうことにはとても驚き、怖かったです。写真などを友達に撮られないようにして気をつけたいです。』(3組)

『私は今日の講演を聞いて、薬物と SNS の怖さと恐ろしさが良く分かりました。また、一番驚いたことがあります。それは何かと言うと、私と同じくらいの年齢の人の中にも薬物にかかわっているという人もいるということです。また、昔は柏駅のダブルデッキの下で薬物などが売られていたなどのやり取りがあったということは良くないことだと思ったのと、小学生の子もその場にいたことにショックを受けました。また、薬物は一回使っただけでも乱用になること、一度でも使ってしまうと二度と抜け出すことはできないことなどが、改めてこれらのことを理解することが大事だと思いました。また SNS については、一つ一つ考えて発言しないと、場合によっては人を傷つけてしまうことになることを忘れずに上手に SNS を活用することが大事だと思いました。なので、これからはLINEで友達と会話する時に相手を傷つけないように意識しようと思います。また、SNS で自分の命を落としてしまう人がいるというのは怖いと思いました。心無い発言、人のことを決して考えて発言しない人がいるから、そのような人が出てきてしまっていることが良く分かったし、写真だけで場所がバレてしまうのは嫌なので気をつけたいです。』(3組)

『薬と薬物は文字で書くと1文字しか変わらない。しかし実物を比べると効果は真逆である』ということにとっても恐怖を覚えました。“物”というたった一つの文字が加わっただけで、こんなにも恐ろしいものになってしまう。そして、その薬物は誰がどこでいつ、どのように使って、普及して売買されているか分かりません。自分がどんな場面で、そのようにそれと出会ってしまうかもわかりません。これはとても怖いことだと感じ、今後気をつけて過ごしていきたいと思いました。また、煙草はいつか吸う人よりその周りの人の方が影響を受けると聞いたことがあります。そのため、周りに害を及ぼさないために、自分に害を出さないためにも決して使わないようにしたいです。』(4組)

よのなかルール 3 <「メシを食べる大人になる！よのなかルールブック」高濱正伸監修>

『「なぜだろう」と考える習慣を、身につける。』

みんなが当たり前だと言っていることが正しいとはかぎらない。

それが本当に当たり前なのか、自分なりの疑問をもつようにしましょう。

